（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	上江洲由正	所　属	観光産業科学部産業経営学科	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.35	①簿記および会計学の演習用教材開発を行い、講義で活用する。 ②大学院で修論のテーマ別指導を行う。 ③卒論のテーマ別指導を行い製本する。 ④上場企業の経営分析を指導し分析結果を製本する。	0.35	①簿記および会計学の演習用教材開発を行い、講義で活用した。 ②大学院で修論の指導を行った。 ③卒論のテーマ別指導を行い製本した。 ④上場企業の経営分析を指導し分析結果を製本した。
研究	0.20	①経済研究へ研究成果を投稿する。 ②科研費による3年目の研究を進展させる。（基礎科学研究）	0.20	①経済研究への投稿は平成25年度となったが、『やわらかい南の学と思想』（第5巻）へ「中小企業と環境行動の展開」を投稿した。 ②研究者との意見交換、資料収集等により科研費による3年目の研究を進展させている。（基礎科学研究）
社会貢献	0.20	①沖縄県企業局経営評価委員会委員長として経営評価を行う。 ②沖縄県生産性本部理事として予算・決算・事業活動を審議する。 ③沖縄国税事務所土地評価審議会の会長として土地評価を審議する。　④税務大学校沖縄研修所での研修を指導する。	0.20	①沖縄県企業局経営評価委員会委員長として経営評価を行った。 ②は講義との関係で出席できなかった。③沖縄国税事務所土地評価審議会の会長として土地評価を審議した。④税務大学校沖縄研修所での研修を指導した。⑤官公需適格組合審査委員会委員長として職務を遂行した。
管理運営	0.10	①大学院経営管理領域主任として職務を遂行する。 ②施設・財務自己評価委員会委員として職務を遂行する。 ③会計監査人選定委員会委員として職務を遂行する。 ④施設管理・安全衛生委員会委員として職務を遂行する。 ⑤教育後援会理事として職務を遂行する。	0.10	①大学院経営管理領域主任として職務を遂行した。 ②の委員は任期切れ。代わりに大学評価センター委員として職務を遂行した。　③会計監査人選定委員会委員として職務を遂行した。④施設管理・安全衛生委員会委員として職務を遂行した。⑤教育後援会理事として職務を遂行した。
進路指導	0.15	①大学院進学希望者の進路指導を行う。 ②ゼミ生の就職指導を行う。 ③会計専門職希望者の個別指導を行う。	0.15	①大学院進学希望者の進路指導を行った。 ②ゼミ生の就職指導を行った。 ③会計専門職希望者の個別指導を行った。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（1枚目）						
名　前	與那原　建		所　属	観光産業科学部・人文社会科学研究科	職　名	教授
領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定		業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果	
教育	0.30	○経営戦略論・競争戦略論の講義資料の作成と受講生の評価をふまえた授業の改善、授業評価アンケートの実施 ○経営学演習Ⅰにおける研究指導（効果的なレジュメの作成およびプレゼンの方法、ゼミ論文のテーマ設定についての指導） ○経営学演習Ⅱにおけるゼミ論文の作成指導 ○大学院における講義提供と修士論文の作成指導		0.30	○担当科目の講義資料を作成し、受講生からの授業評価をふまえた授業の改善に取り組んだ（丁寧な板書、PPの活用）。授業評価アンケートも実施した（前・後学期）。 ○演習Ⅰにおける効果的なレジュメの作成およびプレゼンの方法について指導を実施した。その成果は着実に現れつつある。 ○ゼミ論文の作成指導を行い（演習Ⅱ）、ゼミ生全員（11名）が論文を完成させた。 ○大学院において講義を提供（前・後学期）するとともに、担当した院生の修士論文作成を指導し、完成につなげた。	
研究	0.30	○科研費基盤研究（C）の取り組み（フレームワークの構築と事例研究）○学術論文の作成：タイトル「ダイナミック能力論の有効性（仮）」（基礎科学研究） ○ダイナミック能力論にかかわる研究の深化（追加の資料収集と整理）		0.20	○科研費基盤研究（C）について研究代表者として研究会を開催し、構築したフレームワークを確認するとともに、それに基づく事例研究を報告した。 ○学術論文については投稿準備の段階である。 ○ダイナミック能力論にかかわる資料収集と整理は進行中である。	
社会貢献	0.15	○地域産業資源活用事業評価委員会・農商工等連携事業評価委員会（内閣府沖縄総合事務局）委員長としての貢献 ○沖縄貿易振興事業検討委員会（沖縄県商工労働部）委員長としての貢献 ○沖縄県生産性本部理事としての貢献		0.15	○地域産業資源活用事業評価委員会・農商工等連携事業評価委員会（内閣府沖縄総合事務局）委員長として委員会を開催し、申請のあった案件の審査を行い、基準を充足したものを認定した。 ○沖縄貿易振興事業検討委員会（沖縄県商工労働部）委員長として委員会を開催し、沖縄貿易振興プランを検討した（年度内に策定予定）。 ○沖縄県生産性本部理事として理事会に出席した。	
管理運営	0.15	○教育委員会（全学・学部）委員としての業務遂行 ○教育・学生支援に関する自己点検・評価委員会（全学）委員としての業務遂行 ○大学評価センター評価企画員（全学）としての業務遂行		0.25	○教育委員会（全学・学部）委員として、共通教育科目（人文系）の新設科目の評価を行い、新設を承認した。 ○学科入試委員長として、試験問題（推薦Ⅰ、3年次編入、社会人）の点検・評価を行った。 ○教育・学生支援に関する自己点検・評価委員会（全学）委員として委員会に出席し、本学部の特色ある取り組み等を報告した。 ○大学評価センター評価企画員（全学）として委員会に出席し、自己点検シートのあり方について審議した（なお企画員は後学期より上江洲委員と交代）。　○8月より産業経営学科長として、学科共通経費の管理・運営、入試の役割分担、推薦Ⅰ合格者の入学前英語教育の対応などの業務に従事した。	
進路指導	0.10	○ゼミ所属学生に対する進路相談への対応と模擬面接の実施 ○ゼミ卒業生との交流会を通じた進路指導（進路意識の高揚） ○3年次指導教員としての進路指導（インターンシップ）		0.10	○ゼミ所属学生に対する進路相談への対応と模擬面接の実施により、ほぼ全員の進路が決定した（1名は大学院進学予定、もう1名は来年度教員採用試験受験予定）。 ○ゼミ卒業生との交流会を開催し、現役ゼミ生の進路意識を高めることができた。 ○3年次指導教員としてインターンシップ報告会を開催し、進路指導を実施した。	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。	

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）					
名　前	大角玉樹	所　属	観光産業科学部・産業経営学科	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	これまで実施したWebClass併用型のブレンディッド型講義の教育効果を上げる施策を講じる。また、沖縄ビジネスアイデアコンテストと連動した、産学連携による講義の精緻化を図る。大学院においては、キャリアパスを前提として講義内容を改善する。	0.20	WebClassを活用したブレンディッド型講義を実施し、知識の活用能力を高めた。 沖縄ビジネスアイデアコンテストと連携した講義を実施し、就業力の育成に結びつく、実践型講義の試行を行った。また、IT業界及び県外専門職大学院教授を招聘し、夜間主の学生を対象に、社会人向けITサービスプロフェッショナル講座を開講した。 大学院では、昨今の経済状況と就職の現状を踏まえたキャリアガイダンスを織り交ぜながら講義を進めた。
研究	0.40	科学研究費の申請を行なう。 紀要に論文を一本投稿する。 「就業力」育成事業の比較検討を行ない、研究ノートを作成する。 イノベーション政策に関連する国際会議・国際展示会に参加する。 （特化型研究） ソフトパワー（観光及びコンテンツ政策）に関する海外調査を行なう。 亜熱帯島嶼科学を基盤としたイノベーションの理論的枠組みを構築する基礎データを収集するために、内外の調査・フィールドワークを行なう。	0.35	「観光資本」をテーマとした科学研究費の申請を行なった。 関西大学経済政治研究所紀要に「沖縄の観光と経済」を投稿した。 就業力に関する調査資料を研究ノート「起業アイランドへの海図」として整理し、琉球大学監修『やわらかい南の学と思想』に投稿した。 イノベーションに関する国際会議ISPIM、及びBioJapan2012に参加した。 イギリス、フランス、スイスにおいて文化資本・観光資本に関する調査を行ない、データベースの充実を図った。 沖縄の科学技術関連施設、及びシンガポールにおいて、亜熱帯島嶼科学の応用研究の方向性を調査し、イノベーション理論との擦り合わせを行ない、来年度の科学研究費補助金申請の基礎資料を準備した。
社会貢献	0.10	県内の産学官連携ネットワークの拡充により、人材育成支援に向けた産学連携活動を推進する。 沖縄学生ビジネスアイデア・コンテストの運営委員を務める。	0.10	沖縄県の産学ネットワーク人材育成事業の座長と務め、人材育成に関する研究会及びシンポジウムを開催した。また、内外の先進事例調査を行なった。 沖縄学生ビジネスアイデア・コンテストの委員会委員長を務め、プレゼンテーション大会の企画・運営を行なった。
管理運営	0.20	教員養成委員会委員及びワーキンググループ委員として、組織的な支援体制の構築に努める。 大学院の博士後期課程新設に向けた業務を行なう。 就業力GPの新規事業に向けた計画立案・申請を行なう。	0.25	教員養成委員会の委員を担当し、学生へのアドバイス等を行なった。 大学院の博士課程新設の書類作成業務を行なった。 就業力GPの残務整理を行い、新しく産業界のニーズに応じた人材育成事業の企画・運営、及び九州沖縄地区の研究会に参加した。また、WebClassをカスタマイズし、学習カルテ機能を電子化する準備を行った。
進路指導	0.10	社会人、OBの支援を得ながら、キャリア指導を積極的に行い、 就職、留学に向けたアドバイスを行なう。	0.10	実務家講師の招聘及びOBの支援体制を構築し、キャリア指導及びインターンシップの企画・運営を行なった。 ３・４年次に対して、就職・留学に向けたアドバイスを行い、経験者との意見交換会を開催した。特に、３年次に昨今の経済状況を説明し、早期の就職活動に向けた説明会等を紹介した。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	志村健一	所　属	観光産業科学部　産業経営学科	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.35	○学部担当科目、大学院担当科目について講義目標を達成する。 ◎特に情報科学演習と経営統計学基礎については、URGCCの観点から授業目標を達成すること	0.35	○担当科目は計画した事項を実施でき、概ね目標を達成できたと考える。 ◎情報科学演習については、URGCCの視点で授業を行なった。これはFDでも取り上げ、先生方から意見を頂き、次年度計画に活かすことができる。
研究	0.35	○学会発表を1件以上行う。 ○論文年1件以上の投稿を行う。 テーマは「社会化率の異質性を考慮した相互学習モデル」（基礎科学研究）としたい	0.35	◎学会発表を2件行うことができた。 ○論文は計画したテーマで8月に投稿を行った。今査読中である。 タイトルは「マーチの相互学習モデルにおける社会化率が異なることの影響」である。
社会貢献	0.10	○地域への品質管理活動の支援を行う。特にJIS品質管理責任者セミナーの講師と、QC検定の沖縄試験場の会場責任者を行う。 ○1つの県内大学における経営統計学に関する非常勤講師を務める。	0.10	○セミナーの講師として品質管理、統計的方法についての講義を行う。統計的方法について時間がオーバーしがちなのを、図的な説明、演習を絞るなどの工夫により時間内に収めるなどの改善を行った。 ○ここでは、パソコンを使用しないので、演習を工夫し、授業に少しでも集中できるように工夫を行った。概ね目標は達成できたと考える。
管理運営	0.10	○全学科目企画副委員長として委員会へ参加する。 ○予算委員として学科長を補佐する ○教育委員会委員として、URGCCの実施計画を遂行を支援する。	0.10	○琉大特色科目小委員会委員長として審議事項のまとめを行い、エビデンスとなる議事録を作成する。一応の責務を果たすことができたと考える。 ○予算委員として、特に共通経費について、学科長とともに管理と運営を行った。予算に関して学科長の補佐ができたと考えている。 ○教育委員として、情報関連委員補佐、琉大特色科目委員として、また学科FD企画、参加、実行への協力を行うなど、責務を果たせたと考える。
進路指導	0.10	○ゼミ生への進路指導相談 ○2年次生（昼間主15名）への学習達成度評価を通した支援活動を行う	0.10	○ゼミの時間の合間、あるいは懇親会などの時間をとらえ、話を聞き、また就職相談に応ずるなど予定していた役目は一応果たすことができた。 ○2年次生への学習達成度評価については、2名の休学者以外全員と面接することができ、責務を果たせたと考えている。
	0.00		0.00	
計	1.00		1.00	

名　前	牛窪　潔	所　属	（学部・研究科等）	観光産業科学部 産業経営学科 人文社会科学研究科(経営管理領域)	職　名	教授（学部長）

領域	業務ウェイト比		年度末自己点検結果
教育	0.20	○Introduction to Business Studiesの授業内容と授業方法の見直しと改訂 ○マネジメント実践論・応用論のコンテンツ改善(オリエンテーション資料、講義資料、授業評価シートの改善)と授業実施 ○ゼミ生を対象とした日経新聞社「日経新聞読み方講座」の実施と業界・企業分析および報告会の開催 ○キャリア開発演習のコンテンツ改善(オリエンテーション資料、日経新聞読み方講座の授業内容の共同設計・企画・実施：日経メディア・プロモーション、就職活動実践講座の授業内容の共同設計・企画・実施：オーシャン21、授業評価シートの改善) ○FDの実施（教材開発・改善：中小企業発展論〔URGCCのモデル授業として〕） ○ゼミの学生及び大学院生を対象とした「統計解析勉強会」の実施	○Introduction to Business Studiesの授業内容は、マネジメントとは何か？、事業の定義、日本型マネジメントの強み、に加え、コーチング・マネジメントを新たに追加し、授業内容と授業方法の改善を図った。 ○マネジメント実践論の授業内容を一部改訂した。「国家と産業の不均衡：欧州通貨危機、日本政府の財政危機」を加え、2回にわたり講義した。 ○「日経新聞読み方講座」を後学期開始時期に実施した。各学生は、日経新聞等の情報を用いて業界・企業・職種分析を行い、12月のゼミの時間に報告会を行った。 ○キャリア開発演習については、日経メディア・プロモーションとオーシャン21と連携して、授業内容と授業方法の改善を図った。1月26日のポスターセッションには約100名のゲストが集まり、17チームの成果報告会を実施した。 ○FD(教材開発、学生の評価)については、本年度3月に実施する予定（教材の改訂・改善は修了済み：中小企業経営論） ○大学院生には後学期に、ゼミの学生には夏季休暇中に、「統計解析勉強会」を実施した。
研究	0.10	○「学士力養成に係わる今後の大学教育の課題と展望」と題する調査・研究論文(基礎科学研究)の作成と紀要投稿。	○アンケート調査票の集計と統計解析は終了したが、調査研究論文の完成は本年度の3月を予定している。
社会貢献	0.10	○沖縄県生産性本部副会長としての任務遂行 ○沖縄県雇用開発推進機構評議員としての任務遂行 ○独占禁止法政策推進協力会議のアドバイザーとしての任務遂行	○沖縄県生産性本部の理事会と総会に出席し副会長としての任務を果たした。 ○沖縄県雇用開発推進機構の評議委員会に失跡し、評議員としての任務を果たした。 ○独占禁止法政策推進協力会議に出席し、アドバイザーとしての任務を果たした。
管理運営	0.50	○第2期中期計画・中期目標の平成24年度版アクションプランの策定 ○推薦入試Ⅰによる入学生と一般入試による入学生との比較分析(成績及び単位取得状況、等) ○平成24年度概算要求事業（キャリア支援事業、社会人再チャレンジ事業）の企画、運営、管理 ○「全学会議」①教育研究評議会、②部局長等懇談会、③保健委員会、④入学試験管理委員会、⑤教員養成運営協議会、⑥名誉博士審査委員会、⑦全学教員人事委員会、⑧財務委員会、⑨学生表彰選考委員会、⑩環境・施設マネジメント委員会、⑪エコロジカル・キャンパス推進委員会、⑫教員組織等に関する検討委員会。 ○「学部内会議」①教授会、②調整会議、③将来計画委員会（委員長）、④自己評価委員会（委員長）、⑤入学試験委員会、⑥予算委員会。 ○「学外会議」①夜間教育実施大学学部長・第二部主事会議、②沖縄県高等学校長協会情報交換会	○平成24年度版アクションプランは計画通りに策定したが、特に大学院関係のアクションが遅延してしまった。(研究科長との協力強化が課題) ○推薦入試Ⅰによる入学生と一般入試による入学生との比較分析については、2月の学科会議で報告する予定。 ○新規就業力GP(産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業)が10月に採択され、そのプログラムを現在推進している。 ○「全学会議」①教育研究評議会、②部局長等懇談会、③保健委員会、④入学試験管理委員会、⑤教員養成運営協議会、⑥名誉博士審査委員会、⑦全学教員人事委員会、⑧財務委員会、⑨学生表彰選考委員会、⑩環境・施設マネジメント委員会、⑪エコロジカル・キャンパス推進委員会、⑫教員組織等に関する検討委員会、以上の会議・委員会に出席した。 ○「学部内会議」①教授会、②調整会議、③将来計画委員会（委員長）、④自己評価委員会（委員長）、⑤入学試験委員会、⑥予算委員会、以上の会議・委員会に出席した。 ○「学外会議」①夜間教育実施大学学部長・第二部主事会議に出席した。
進路指導	0.10	○ゼミの学生への進路指導相談（コーチングに基づく全員の面談実施） ○指導教員として1年次学生（夜間主10名）に対する個別指導 ○進路指導プログラム（自己分析、業界・企業・職種分析、日経新聞の読み方）の改善と開発 ○就職課、就職センターとの連携強化施策実施 ○インターンシップ事前指導の改善（集中講義に変更し授業内容と授業方法の改善をはかる） ○就職・進路決定に関する効果的情報収集の方法を考案・実施 ○卒業後の実態調査を効果的に実施するアイデアの考案（調査票の作成を含む）	○進路指導については、面談、エントリーシート添削指導、OB・OGの紹介、面接練習、等を実施した。ゼミの就職率は90%であった。 ○年2回の履修登録期間中に、指導教員として1年次学生（夜間主10名）に対する個別指導を実施した。 ○自己分析と業界・企業・職種分析については、ゼミ生全員に個別指導(1人あたり5回)を行った。2月～3月は面接指導を行う予定。 ○就職課、就職センターと連携して、全学部を対象とした日経講座の開催および企業説明会を実施した。 ○担当教員の名嘉先生と協力して、6コマ分の授業内容と授業方法の改善を図った。 ○ゼミ生の進路調査票は全員分、就職センターに提出した。 ○卒業後の実態調査もコンシェルジュシートを活用して、追跡調査が出来ないかを検討中。
	0.00		
計	1.00	備　考	

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	野口　浩	所　属	観光産業科学部	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	35.00	大学院生3人に対する指導に特に力を注ぐ。彼らは税理士の卵であり、今後の沖縄の会計・税務業界を引っ張って行く可能性が高い。そのためにも、学問的な知識に加えて、実務知識も伝えていきたいと思っている。もちろん、学部のゼミ・講義も質の高いものを供給していきたい。	35.00	教育面については、次の理由から、満足の行く結果を出せたと思う。①大学院生3人は論文のテーマを早い時期に決めることができ、ある程度の考察を進めることができたこと、②学部のゼミ、講義をほぼシラバスどおりに進めることができたこと。また、ﾌﾟﾛﾌｪｯｻｰ・ｵﾌﾞ・ｻﾞ・ｲﾔｰを受賞できたことは自分の励みとなった。
研究	30.00	日本税法学会の学会誌である「税法学」（査読付学術誌）2012年11月号に、1本論文を掲載したい。11月以後は、次の論文投稿への準備を行う。報告については、日本税法学会沖縄地区研究会と同学会九州地区研究会でそれぞれ行いたいと考えている。	35.00	研究面については、次のとおり、100％目標を達成することができた。①査読付論文を1本公刊することができた、②学会報告を日本税法学会沖縄地区研究会と九州地区研究会において行った、③次の論文に着手することができ、ある程度の考察を進めることができている。
社会貢献	10.00	学部の講義を、可能な限り公開講座に登録したい。現在、2人の社会人の方が私の公開講座講義を受けて下さっているが、受講者の数をさらに増やしていきたい。	5.00	公開講座は要望に応じて登録することができた。外部からの受講者の数を増やすことが課題として残っている。
管理運営	15.00	学会や調査研究のため、欠席することもあるかと思うが、教授会、学科会、研究科会および委員会活動は、すべて出席率70％以上を目指す。また、引き続き、サークル活動（会計サークル）の管理運営にも、力を入れていきたい。	15.00	現時点において、教授会、学科会、研究科会および委員会は、すべて出席率70％以上達成見込みである。会計サークルは全国簿記大会・2級団体の部において10位を獲得することができた。
進路指導	10.00	関東の有力企業人事部との関係を築きたい。また、日本税法学会沖縄地区研究会に所属する公認会計士や税理士の方々から、沖縄の職業会計人業界について意見交換させて頂き、学生の進路指導にあたりたいと考えている。	10.00	関東の有力企業に、就職活動の一環として学生を2人紹介することができた。今後もこのような可能性を広げていくために、関東だけでなく、全国の有力企業人事部とのつながりを築いていきたい。
	0.00		0.00	
計	100.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）						
名　前	多賀　寿史		所　属	観光産業科学部　産業経営学科	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	○International Accountingの講義提供(英語による講義の提供：後期)　○簿記原理1の講義のwebclass化とパワーポイント化　○経営学演習1での企業分析教材の開発と演習指導　○経営学演習Ⅱでの卒論指導 ○大学院の指導 ○e-learningによる日商簿記２級講座の解説と教材の改訂	0.40	○Intertnational Accountingの講義はすべてパワーポイントを活用して行った。　○簿記原理1の講義はパワーポイントを活用し、web classを活用して復習しやすい体制を整えた。 ○経営学演習1は財務諸表分析のテキストを活用して指導を行った。 ○経営学演習2では卒論を全員に書いてもらった。 ○大学院では前期後期とも受講者がいたのでテキスト輪読方式で講義を行った。 ○e-learning教材の改訂を引き続き行った。
研究	0.30	○多賀の研究課題である「公正価値測定の意義と課題（基礎科学研究）」を深める。具体的には、6月締切の学部紀要の執筆と10月締切の学部紀要の執筆 ○科学研究費補助金申請を行う（科研Cで） ○研究会や学会に積極的に参加して自分の研究テーマに関する意見を広く求める。 ○九州部会報告で報告できるように準備を進める（来年３月）	0.20	○多賀の研究課題である「公正価値測定の意義と課題（基礎科学研究）」について広く文献を集めて輪読を行ってきたが、私の力量不足で論文にするまでにはいかなかった。ここ数年満足のいく結果を出していないので、自己研鑽に努め結果を出していくように努力していきたい。 ○科学研究費補助金については申請書は執筆したものの結果として提出することができなかった。来年度は必ず科研費を取れる研究計画を早めに書いていくようにしたい。 ○研究会や学会に積極的に参加して自分の関心のあるテーマについていろいろと知見を深めることができたので、自分の研究に活かせるように自己研鑽に励みたい。 ○今回はその他もろもろの事情で研究報告できなかったので、平成25年度は必ずどこかでひとつ報告するという目標を立てていきたい。
社会貢献	0.10	○　琉球大学公開講座の科目提供	0.10	○今年度簿記原理1を琉球大学公開講座として科目提供した
管理運営	0.15	○学内の委員の依頼を受けたらしっかりこなす。 ○高校の入試説明会で学部・学科のアピールを行なってくる。 ○AO委員の仕事をしっかりこなす。	0.15	○入試委員に仕事をしっかりとこなした。 ○コザ高校と名護商工の入試説明会を担当し学部・学科のアピールを行なった ○AO委員の仕事として、福岡と岡山で大学説明会を行ってきた。
進路指導	0.15	○3年ゼミ生への企業分析の手法の講義と就職活動のアドバイス。 ○4年ゼミ生への進路指導のアドバイスと企業分析の方法のアドバイス。	0.15	○3年ゼミ生に対し、企業データの読み方を教示しながら就職指導を行った。　○4年ゼミ生への進路指導のアドバイスと企業分析の方法のアドバイスを行い、全員希望のところに就職することができた。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	桑原　和典	所　属	観光産業科学部	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.25	①学生の意見を反映させた講義の実施（実務レベルへの関心等） ②講義後の学生との意見交換（質問や要望等） ③FDの実施	0.30	①理論と現実を融合すべく，株価等の市場データを活用し，ファイナンス論の理解度を向上させたと考えられる。 ②講義終了後やオフィスアワーを設けることで意見交換を実現させた。 ③FDに関しては，各種委員会のFDに参加している。
研究	0.35	①基礎科学研究の推進 ②学内紀要への投稿（「観光産業における財務戦略」） ③各学会（日本経営学会，日本ファイナンス学会，日本財務管理学会，　　アジア経営学会等）への参加および発表	0.30	①基礎科学研究として，2000年以降の株価データの収集を実施している。 ②紀要に関しては，現在，執筆中である。 ③今年度は，各種学会への参加のみである。
社会貢献	0.10	①各企業（金融，メーカー等）に対するアカウンティングおよびファイナンスに関する企業研修を実施予定 ②公開講義の実施	0.10	①各企業に対して，研修を実施し，公認会計士の補修所においてもファイナンスの研修を行う。 ②昼間主および夜間主で，前後期において公開授業を実施している。
管理運営	0.10	①情報システム委員として，学科・学部の学生に対して学習できる環境を促進 ②産業経営学科において，さまざまな入試の監督や作問を担当予定　　③学科会議への積極的参加や意見交換により会議を活性化	0.10	①委員会に参加し，情報関連の現状について認識している。 ②小論文作成や試験監督等を実施している。 ③私的な諸事情のため，会議への参加が若干少ないようである。
進路指導	0.20	①担当ゼミナールにおける学生への指導 ②日本経済新聞社主催の「日経ストックリーグ」への参加を通じた学生への指導 ③担当学年（４年生）との意見交換（メールや研究室等）	0.20	①学問についてはもちろん，就職支援(SPI等の実施)等も行っている。 ②本年度は，4チーム参加したが，残念ながら入選はゼロである。 ③就職関連の問い合わせ件数が多く寄せられ，就職センターへの橋渡し等を行っている。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	桑原　浩	所　属	観光産業科学部　産業経営学科	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	・新規科目「マーケティング概論」のための教材の開発と教育方法の試行　・科目「観光マーケティング論」の教材の改善 ・担当2年次生及びゼミ生の学習達成度に関する指導（全員GPA2.0以上）	0.30	・「マーケティング概論」受講者の中で特に英語力の向上を強く望む学生に対して英語教材の併用による学習「English Option」を提示した結果、10名以上の参加があった。 ・「観光マーケティング論」の課題教材を改善して実施した。 ・学習達成度に関する個人指導において、GPA2.0以下の学生には問題点と改善方法の確認を求めた。
研究	0.40	研究の種類：応用的研究、実践的研究 研究テーマ：東南アジアにおける観光マネジメント ・科学研究費補助金に基づくメコン圏観光研究への着手 ・観光ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ分野でメコン圏研究者との研究交流	0.40	・科学研究費補助金に基づく研究「後発開発途上国ラオスにおけるプロプアツーリズムのための人的資源管理」の面接予備調査を10月に実施し、2月に面接調査を実施予定である。 ・9月にタイ・チェンライMae Fah Luang Univの研究者2名とCultural Tourismに関して意見交換を行った。また、交流相手の大学授業にて研究課題の一部を発表した。
社会貢献	0.10	・科目「観光事業論」、「観光マーケティング論」の公開授業の実施 ・JICA地域特別研修での講義担当	0.10	・科目「観光事業論」、「観光マーケティング論」の公開授業を実施した。 ・JICA地域特別研修が今年度は実施されなかったために講義は行わなかった。
管理運営	0.10	・「全学情報システム運用委員会」への積極的参加 ・「総合情報処理センター専門委員会」への積極的参加 ・「紀要委員会」への積極的参加	0.10	・「全学情報システム運用委員会」、「紀要委員会」、「動物実験委員会」に参加した。
進路指導	0.10	・3年次及び4年次ゼミ学生への個別進路指導(各学期の開始時及び随時）	0.10	・3年次及び4年次ゼミ学生への個別進路指導を学期開始時及び適宜に実施した。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	井川浩輔	所　属	観光産業科学部	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	平成24年度から実施される経営学概論の単位数変更（4単位から2単位へ）に対応するため，①2単位講義の新しい教材を開発するとともに，②旧カリキュラム対象学生用の4単位講義の教材（ケース・スタディ）も新たに作成して，③後学期に2単位講義と4単位講義両方の開講を目指す。	0.20	①従来の4単位講義の良さを活かしつつ，英語による講義への移行も意識した，2単位講義の新しい教材を開発するとともに，②旧カリキュラム対象学生用の4単位講義教材として，沖縄に関連する事例を用いたケース・スタディも新たに作成した。③後学期に2単位と4単位両方の講義を新たに開講して，それぞれの授業の連動性を工夫した。
研究	0.40	現在，研究代表者として，また，研究分担者として科研費（ともに人的資源管理に関する研究課題）を獲得しているが，①それらの科研費に関連する調査を行いデータを収集するとともに，②人的資源管理に関する論文を執筆してその成果の公刊を目指す。	0.40	①科研費（代表分・分担分）に関連する調査を行った。民間企業3社や病院組織において定性的・定量的データを収集・分析するとともに，人事担当者が参加する研究会においてもデータを収集した。②人的資源管理に関する論文「ナレッジワーカーのパフォーマンス・マネジメント」（基礎科学研究）が学術雑誌『経営行動科学』第25 巻第2 号（平成24年8月，共著，査読有）に掲載された。
社会貢献	0.20	①教員向けのモチベーションとリーダーシップに関する教材を新たに開発して，②教員免許状更新講習の開講を目指す。 ③人事担当者向けの学習する組織に関する資料を新たに作成して，④講演の実施を目指す。	0.20	①教育の現場を意識したモチベーションとリーダーシップに関する教材を新たに開発し，②琉球大学において教員免許状更新講習（平成24年8月）を実施して，受講者アンケートで高い評価を得た。③各企業における人材育成の取り組みが評価できる「学習する組織」に関する資料を新たに作成し，④関西生産性本部2012年度人材開発研究会（平成24年8月）において講演を行った。
管理運営	0.10	研究推進戦略会議の研究企画員（継続）として，①学部における研究推進に関する書類作成業務を新たに担うとともに，②学科における研究推進の取組みとして長期研修実施に関する情報収集を目指す。 ③営利企業役員等兼業審査委員会の委員（新規）としての業務を迅速に理解できるよう情報収集を行うことを目指す。	0.10	①研究推進戦略会議の研究企画員（継続）として全学の研究推進戦略会議に出席し情報収集を行うとともに，②学科における各教員の研究進捗状況に関する情報を収集・整理し，③学科における長期研修のあり方に関する聞き取りを数名の教員に対して行った。④営利企業役員等兼業審査委員会の開催連絡はなかった。
進路指導	0.10	経営学演習Ⅰ（3年次）の講義において，①発表担当者だけでなくそれ以外のメンバーの自己分析や企業分析も実施できるような教材を新たに開発して，②講義の中で使用することを目指す。 ③経営学演習Ⅱ（4年次）の講義時間以外に，キャリア面談（1時間から2時間程度）の機会を今まで以上に設けることを目指す。	0.10	①経営学演習Ⅰ（3年次）の講義において受講生全員が自己分析を実施できる学習課題シートを新たに開発し，②そのシートを講義の中で活用して受講生の参加や復習を促すことができた。③経営学演習Ⅱ（4年次）の講義時間以外に，2時間から3時間程度のキャリア面談をこれまで以上に実施し，電子メールを用いた履歴書やエントリーシートのチェックも継続的に行った。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	福井　眞司	所　属	観光産業学部・産業経営学科	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.50	1）簿記原理Ⅰ（※学科1年次生必修）の現代的問題を盛り込んだ講義内容の作成および提供、　2）eラーニングによる学生への学習支援の充実	0.70	1）簿記原理1(1年次必須科目)および現代会計のしくみ（共通科目）の講義において、WebClass(eラーニング)を活用した課題の出題および提出、ならびに事前学習および事後学習のサイクル化の確立
研究	0.30	1）専門研究論文（1本）の作成、2）所属学会報告	0.00	専門学会雑誌等への研究論文（ペーパ）の執筆・投稿なし
社会貢献	0.10	1）会計教育の普及（出前講座などの実施）	0.00	とくに要請なし
管理運営	0.05	・通常大学業務の遂行	0.10	担当の委員会等、通常大学業務の遂行
進路指導	0.05	・学生への支援・指導	0.20	1年次（夜間主）学生への簿記学習支援の実施
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）						
名　前	宮国薫子		所　属	観光産業科学部　産業経営学科	職　名	講師
領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定		業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果	
教育	0.25	○経営学演習Iの指導方法の改善 ○観光情報論の単元を増やしコンテンツを深める （沖縄のフリーペーパー出版・観光の評価情報・着地情報の利用法）		0.35	○経営学演習Iの指導方法を改善した。英語で発表や討論する時間を増やして学生の発言の場をつくったことにより、演習Iが活性化した。 ○観光情報論の単元を増やしコンテンツを深めることができた （沖縄のフリーペーパー出版・観光の評価情報・着地情報の利用法）　○かりゆし観光人材育成海外研修プログラム（ハワイ大学）の学生ために事前事後指導（マーケティング特殊講義）を行い、学生を引率した。　○経営学演習II（知念ゼミ）を後期から担当した。　○経営学演習IについてFDを行った。　○観光学科の授業 Tourism Development of Hawaii を観光学科の学科長とともに、（急遽、学科長に頼まれて）担当した。	
研究	0.30	○「八重山郡　西表島観光の現状と課題（基礎科学研究）」を、観光研究学会で発表し、学会誌に投稿。　○ 科学研究費補助金基盤研究（C)の種目で1件申請する。		0.15	○「八重山郡　西表島観光の現状と課題（基礎科学研究）」を、観光研究学会で発表し学会誌に投稿することはできなかったが、25年度の4月9日に米国のNERR （North East Recreation Research Symposium） においてポスタープレゼンテーションを共同研究者とともに行うことになり、抄録が受け取られた。　○科学研究費補助金基盤研究（C)の種目で1件申請した。　○科学技術振興機構（JST)と国際協力機構（JICA)による地球規模課題国際科学技術協力（SATREPS）という研究プロジェクト、「サンゴ礁生態系における持続可能管理（パラオ共和国）」に6月から、社会学分野の研究員（琉球大学理学部3名、法文学部1名）として加わることになった。12月に詳細策定計画のためパラオ共和国に赴いた。この研究は平成25年から30年までの5年間続く。	
社会貢献	0.10	○沖縄県観光振興課における指定管理委員の責務を果たす。 ○沖縄県高等学校生徒研究発表会の審査員としての責務を果たす ○教員免許更新の授業を夏季に行う。 ○「まちづくり・地域興し論」の授業を生涯教育センターによる「公開講座」として、社会人を受け入れる。		0.15	○沖縄県観光振興課における指定管理委員の責務を果たした。 ○沖縄県高等学校生徒研究発表会（7月）の審査員としての責務を果たす。 ○教員免許更新の授業を夏季に行うことにして募集したが人数が集まらなかった。　○ 「まちづくり・地域興し論」の授業を生涯教育センターによる「公開講座」として、社会人を受け入れることにしたが希望者はいなかった。　○ 那覇市都市計画審議会における委員の責務を果たした。	
管理運営	0.20	○4年次指導教員としての業務遂行 ○ハラスメント防止委員会の委員として業務遂行 ○広報委員としての業務遂行		0.25	○4年次指導教員としての業務を遂行した ○ハラスメント防止委員会の委員として業務遂行した。 ○ハラスメント調査委員会の委員として、加害者の事情聴衆を行い、報告書を作成した。　○ハラスメント窓口委員としてセミナーに出席した。　○オープンキャンパス時に学科の教員紹介を校正するなど、広報委員としての業務を遂行した　○琉球学専攻設立委員（ワーキンググループ）として任命され委員会に参加した。　○かりゆし観光人材育成海外研修プログラム（ハワイ大学）のワーキンググループとして業務を遂行した。	
進路指導	0.15	○ゼミ生への進路指導相談 ○2年次生への学習達成度評価を通した支援活動を行う		0.10	○ゼミの時間の合間、懇親会、ゼミ合宿などの時間をとらえ、話を聞き、また就職相談に応ずるなど予定していた役目は一応果たすことができた。 ○2年時生への学習達成度評価を通した支援活動を行った。	
	0.00			0.00		
計	1.00			1.00		